

日本経済新聞

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 7100-8088 03-3779-0751
 東京都千代田区大手町1-9-5
 振替口座 00130-7-555番
 大阪本社 7549-8588 06-6943-7111
 大阪市中央区大手前1-1-1
 振替口座 00920-1-73217番
 名古屋支社 7489-8366 052-222-2561
 名古屋市中区正木2-3-1
 振替口座 00830-6-6149番
 西京支社 7812-8666 082-473-3300
 福岡市博多区博多駅東2-16-1
 振替口座 01710-1-1248番
 札幌支社 7960-8221 011-281-3211
 札幌市中央区北1条西7-3

©日本経済新聞社 2000

自律神経の働き測定 東北大・ソニー など装置開発

東北大加齢医学研究「研究グループ」は、自律神経「発した。自律神経は消化器
 ソニーなどの産学協同」の働きを測定する装置を開「や血圧、ホルモン分泌など

を調節しており、動きの激しい映像を見た時、騒音が激しいと働きが乱れるとされる。健康への影響の少ないゲームを開発したり、自宅で自律神経の状態を監視する在宅医療用の装置など「に使う」とみている。

研究グループには東北大の仁田新一教授と山家(やんべ)智之助教授、ソニーのほか、浜松ホトニクス、金沢大学が参加した。

開発した装置は心電図や血圧のほか、血液の流れる速さや量、脳の酸素消費量などを測定できる。これらを解析して自律神経を構成する交感神経と副交感神経の活動状況を記録する。

東北大の学生の協力で実験したところ、ジェットコースターに乗っている人から見える光景は交感神経を刺激し、興奮を映したビデオを見せると副交感神経の働きが増すことがわかった。

刺激的な立体映像がめまいや頭痛を引き起こしたりするなどの問題がある。このため、ソニーは自律神経への影響を調べて、人間の身体に負担の少ない映像ソフトやバーチャルリアリティ(仮想現実感)表示装置の開発を目指す。